

農作物の生育概況等について

1 気象経過

今冬は最大積雪深が大きかったものの、2月の気温が平年よりも高く推移したことから、融雪は平年よりも早く進んでいる。3月の気温は平年並からやや高く推移している。

気象庁が3月19日に発表した予報によると、向こう1か月の気温は高い見込みである。

2 主な農作物の生育状況

(1) 果 樹

- ・ 果樹の発芽期は、平年に比べ、西洋なしで4日、ももで2日早く、さくらんぼでは平年並～1日早い状況である。今後、平年より気温が高くなる予報であるため、生育はさらに早まると見込まれる。
- ・ 3月19日に開催した「さくらんぼ等果樹凍霜害防止キャラバン出発式」を始めとして、県内全域で凍霜害防止の啓発活動を実施している。
- ・ ハウスさくらんぼの出荷は、「紅さやか」が2月20日(前年比－1日)から、「佐藤錦」が3月1日(前年比－8日)から始まった。3月中旬頃からは、燃油高騰を受けて燃油暖房機の設定温度を下げて管理している。

■ 果樹の主な樹種の生育状況（園芸農業研究所:寒河江市、3月20日現在）

樹種 及び 品種	さくらんぼ									西洋なし			もも		
	やまがた紅王			紅秀峰			佐藤錦			ラ・フランス			川中島白桃		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
発芽期 (月日)	3/20	3/20	3/22	3/20	3/21	3/22		3/26	3/26	3/18	3/22	3/23	3/16	3/18	3/23

(2) 野 菜

- ・ きゅうり半促成栽培の生育は、概ね平年並である。燃油高騰を受けて、大部分の生産者が設定温度を下げて管理している。
- ・ すいかやハウスメロンは、現在育苗中で、生育は概ね平年並である。

(3) 花 き

- ・ さくら「啓翁桜」は出荷終盤となっており、概ね平年並の進捗となっている。
- ・ 周年栽培のばらやアルストロメリアは、3月上旬から出荷本数が増加しており、概ね平年並の進捗となっている。燃油高騰を受けて、燃油暖房機の設定温度を下げたり、電動のヒートポンプ暖房機の稼働割合を増やして管理している。

3 当面の主な技術対策

〈水 稲〉移植計画に合わせた種子浸漬、催芽、播種の実施、健苗育成

〈果 樹〉さくらんぼの凍霜害対策および結実確保対策の徹底、さくらんぼ・ぶどうハウス栽培の生育状況に応じた温度管理の徹底

〈野 菜〉すいか、メロン等の適切な育苗管理と定植の準備

〈花 き〉ばら、アルストロメリア等施設花きの高品質生産に向けた温度管理の徹底